

リスクの設定について

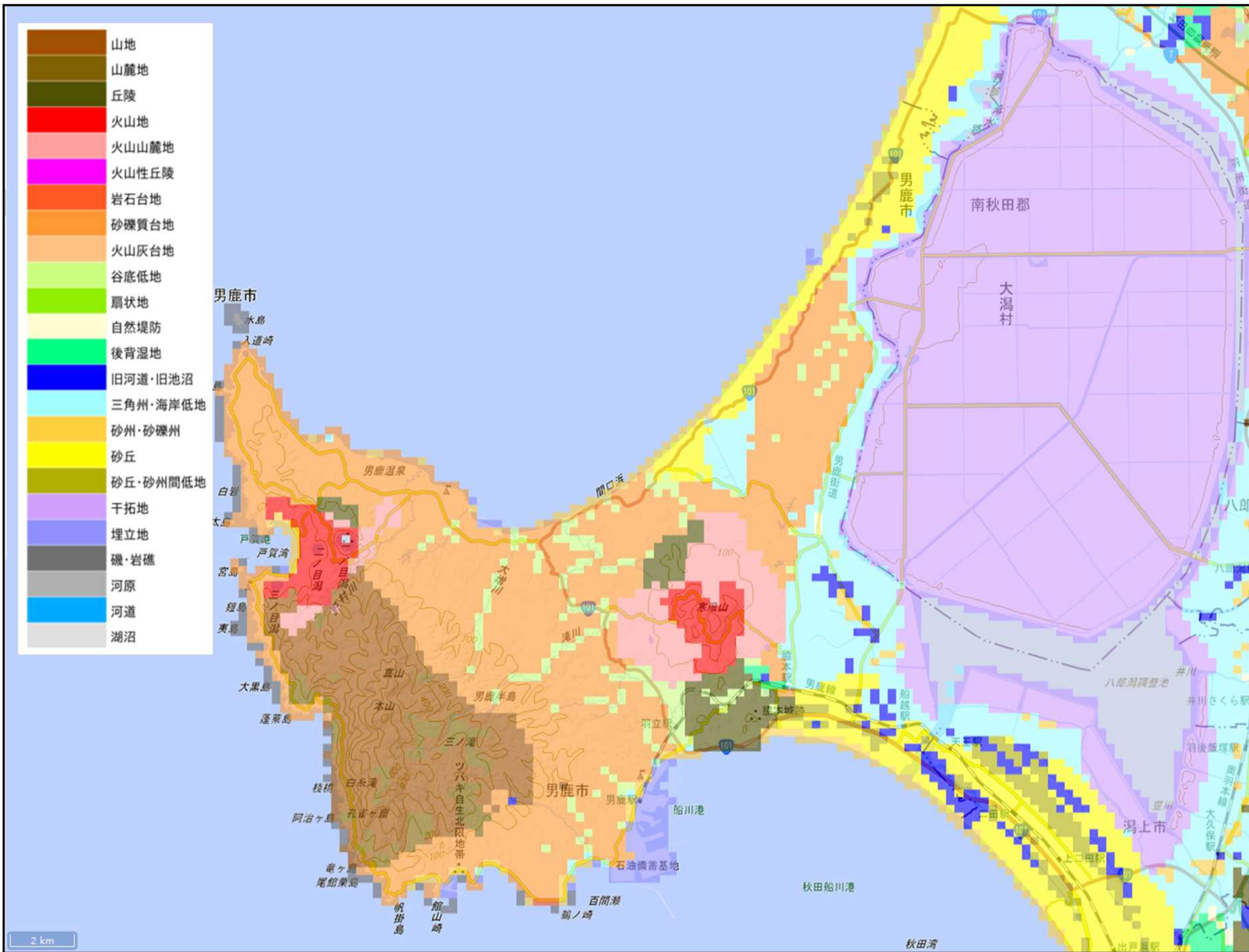
第2回秋田県男鹿半島地域等防災・減災対策検討委員会

能登半島地域と男鹿半島・鹿角地域の比較



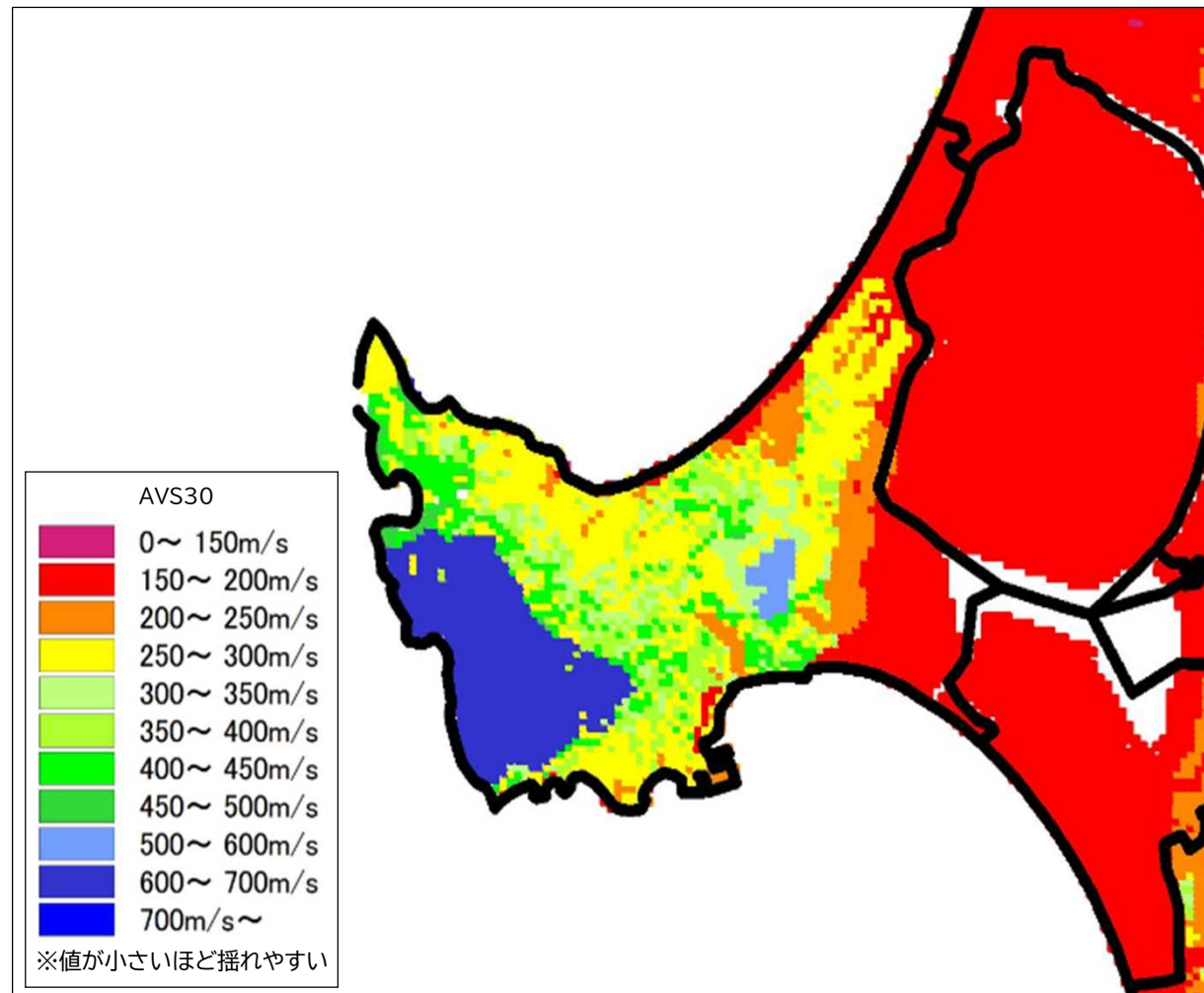
- 能登半島の地域面積(半島振興法の対象地域)は男鹿半島の約4.9倍(能登半島:2,404km²・男鹿半島:491km²)
- 能登半島の特に被害の大きい地域(輪島、珠洲、能登、穴水)の人口は男鹿市の約2.3倍(能登半島:約5.5万人・男鹿半島:約2.4万人)
- 県庁所在地からの直線距離は珠洲市—金沢市は約110km、男鹿市—秋田市は約30km(鹿角市—秋田市は約80km)

男鹿半島地域の特徴について



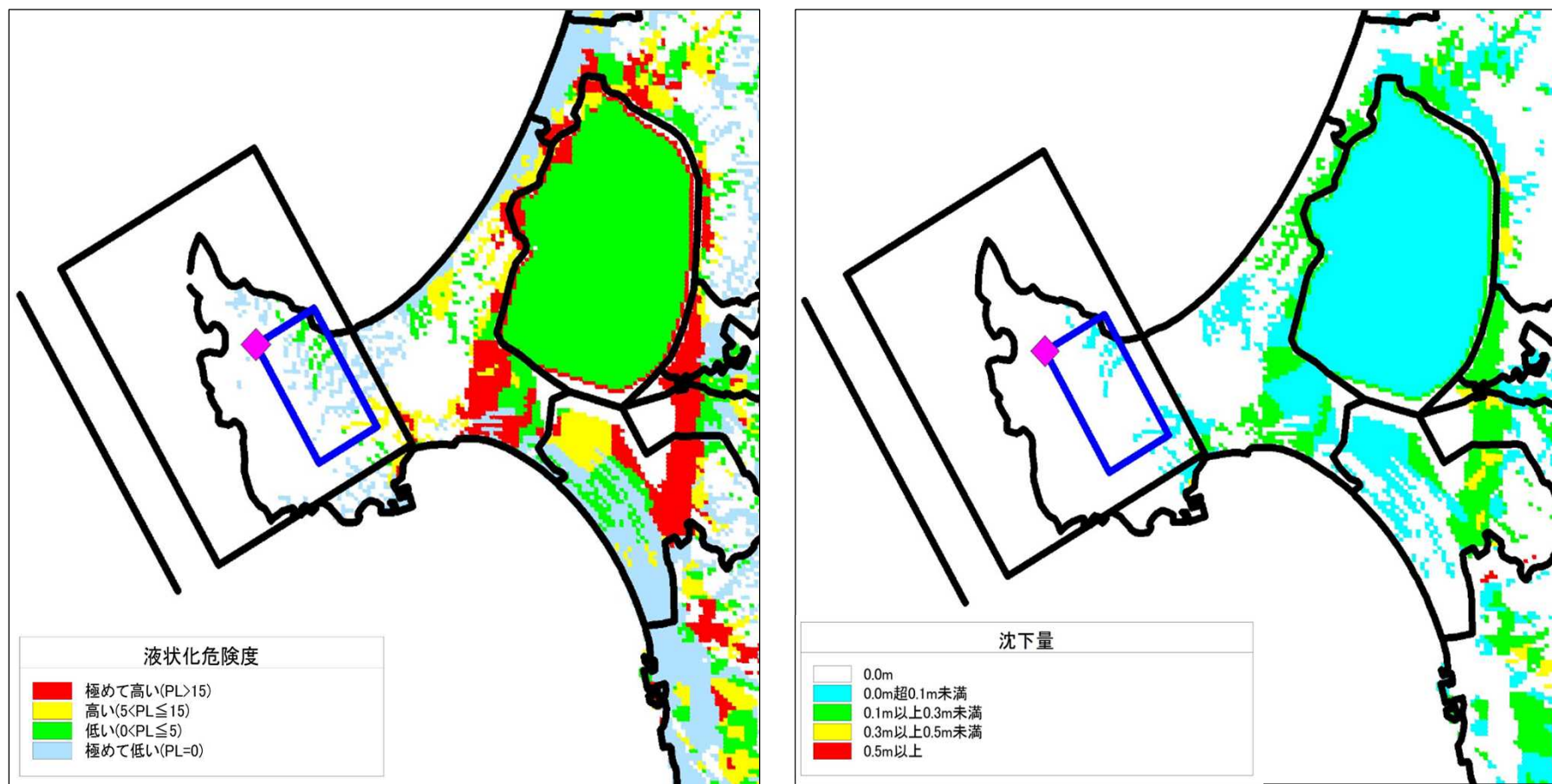
微地形区分

男鹿半島地域の特徴について



深さ30mまでの平均S波速度（AVS30）

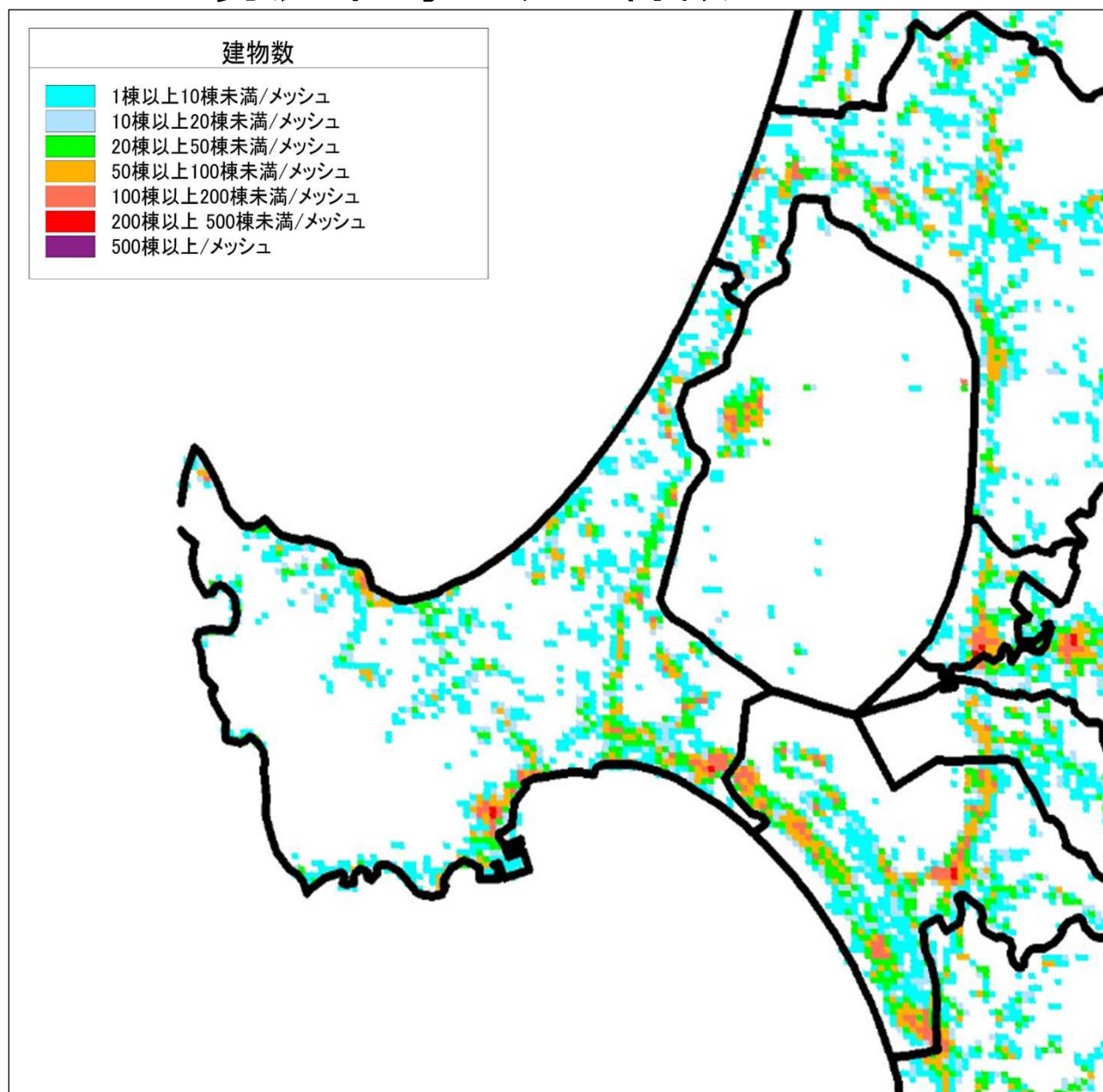
男鹿半島地域の特徴について



○男鹿半島の南北の砂丘、砂洲と八郎潟周縁部で危険度が高い(沈下量が多い)。

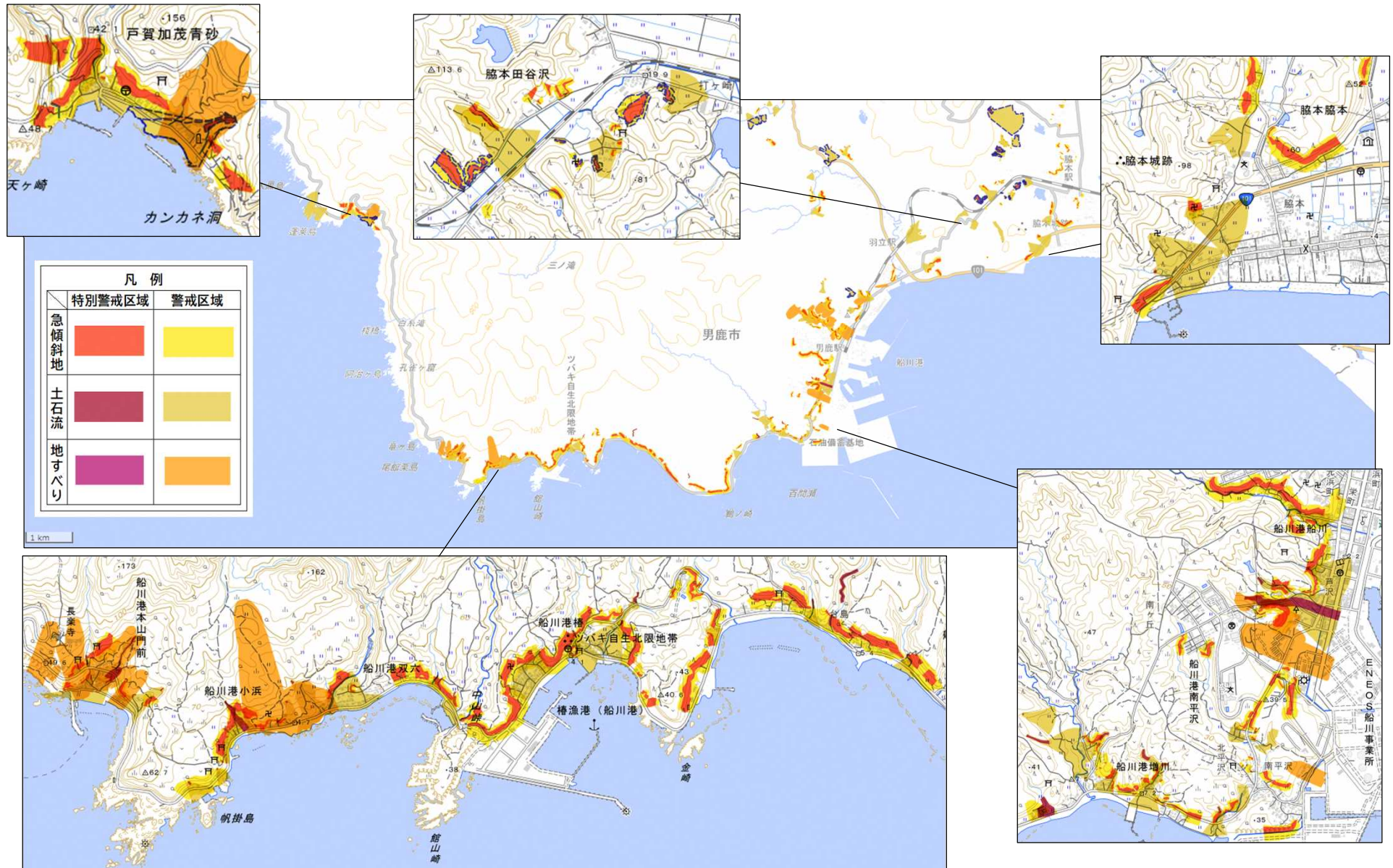
液状化危険度（男鹿地震のケース）

男鹿半島地域の特徴について



建物の棟数分布

男鹿半島地域の特徴について

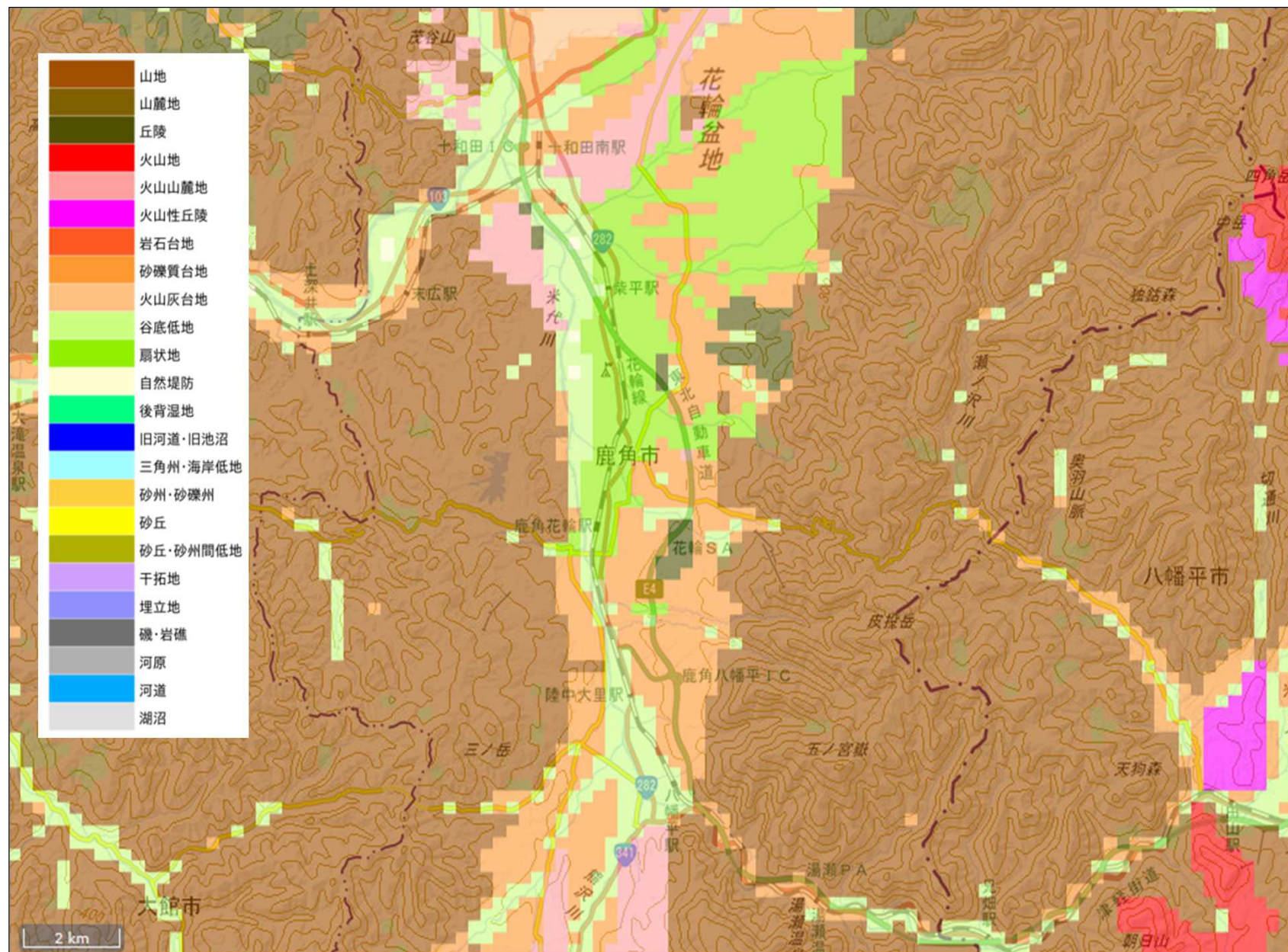


男鹿半島地域の特徴について（まとめ）

- 人口:24,713人(R5.1.1現在)(※65歳以上は48.7%)
 - 住宅の耐震化率は64%(R2末推計)
 - 船川地区から西～北西方面の海岸部、半島内の山間部に集落が点在
 - 男鹿半島に至る道路は国道101号と県道4路線
- 【地震の揺れ】
- 半島の南北の付け根部分及び八郎潟周縁部では揺れが強くなる傾向
- 【液状化】
- 半島の南北の付け根部分及び八郎潟周縁部では液状化が発生する傾向
(周辺の潟上市、大潟村なども同様)
- 【土砂災害】
- 海岸部や内陸部では土砂崩れ等に伴う道路の寸断により孤立のおそれ
- 【津波浸水】
- 海岸部の集落は津波避難の際に短時間で急傾斜を上る必要あり
 - 船越や脇本などは標高が低いことから津波避難に困難が生じるおそれ
 - 国道101号や各県道は津波浸水域内にあり広域で孤立のおそれ

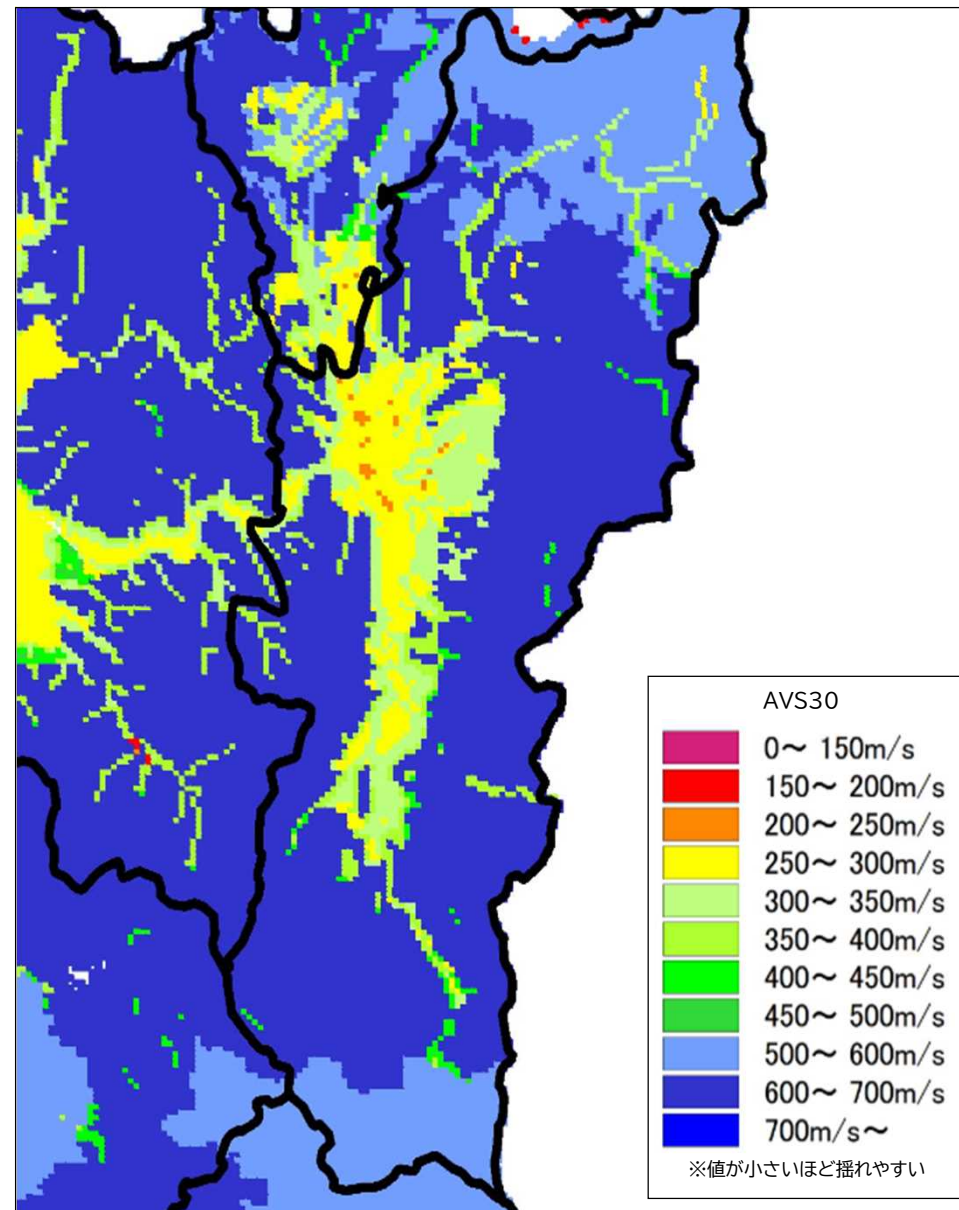


鹿角地域の特徴について



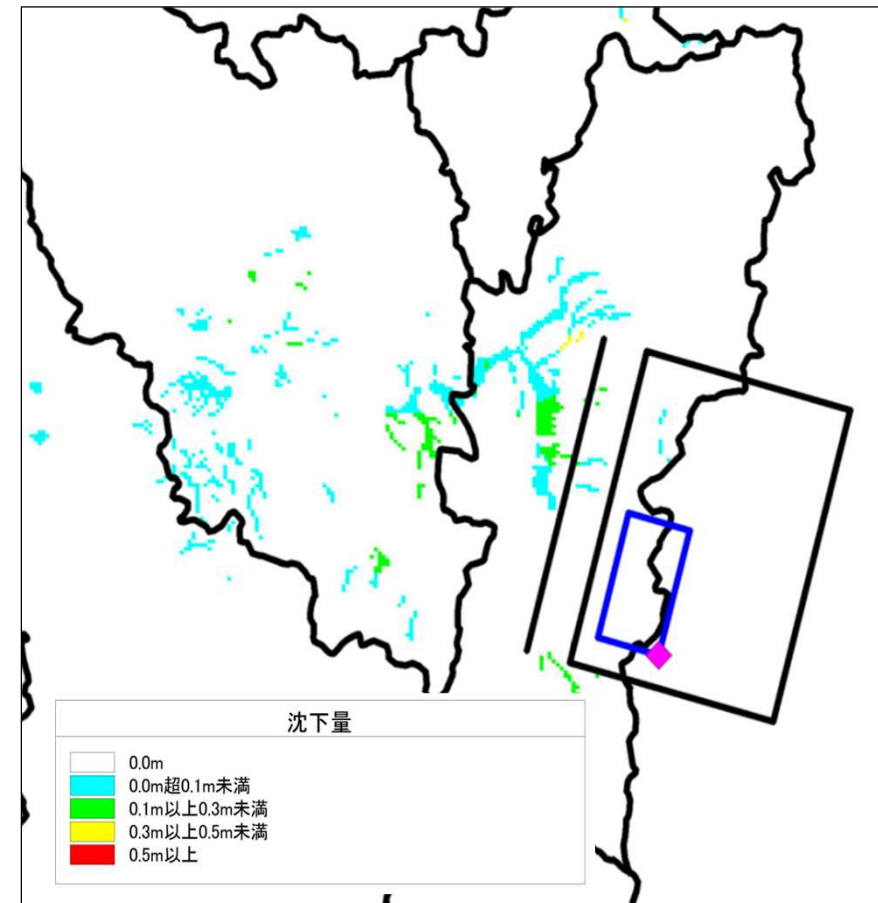
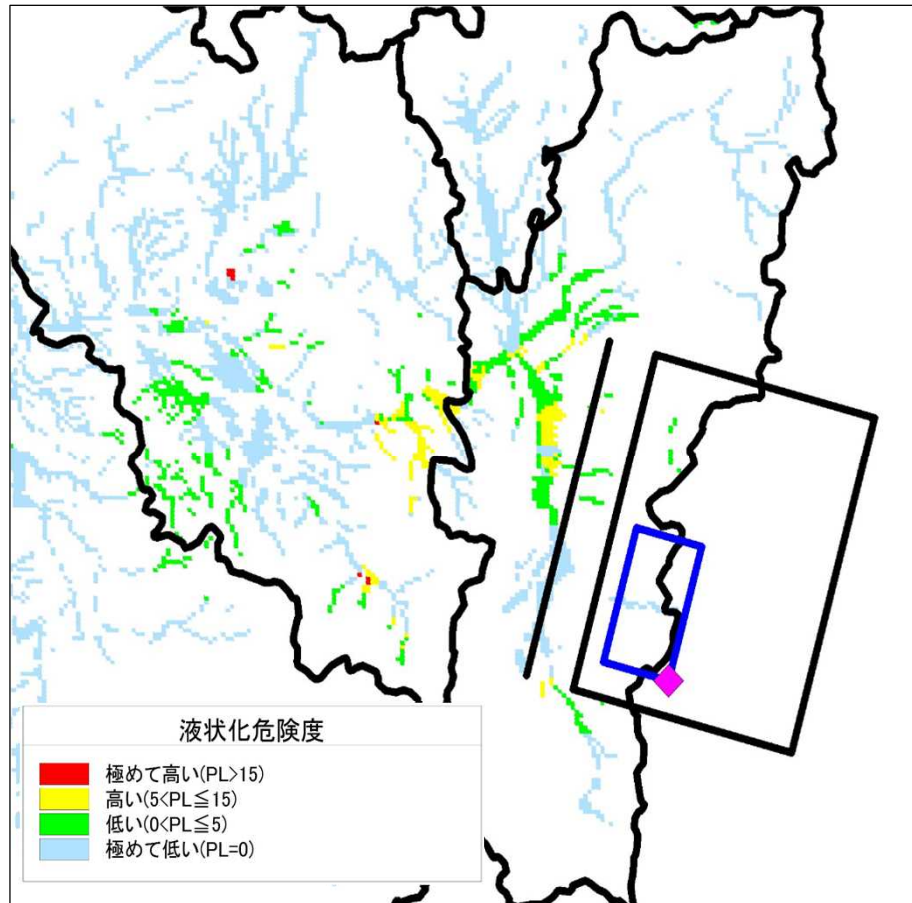
微地形区分

鹿角地域の特徴について



深さ30mまでの平均S波速度（AVS30）

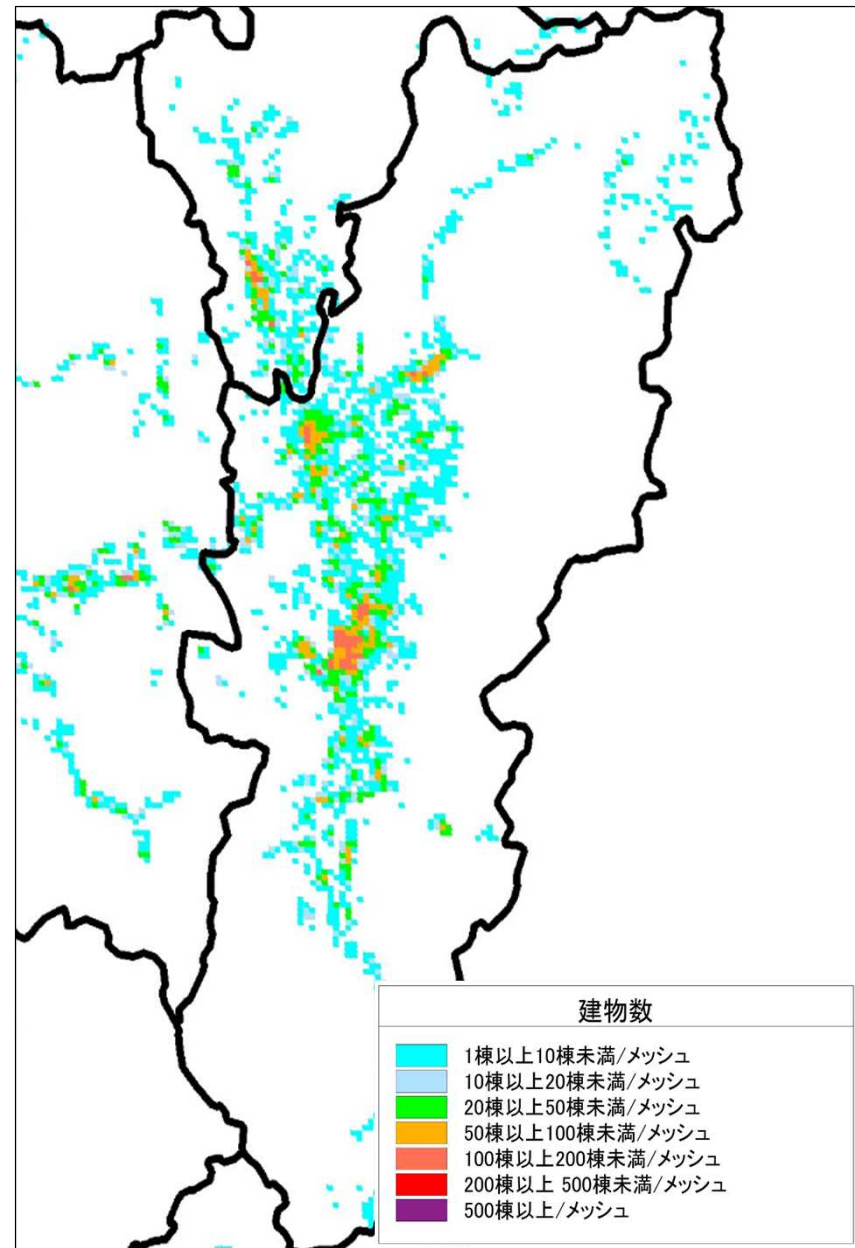
鹿角地域の特徴について



○花輪盆地の中央部(河川の流域)で危険度が高い(沈下量が多い)。

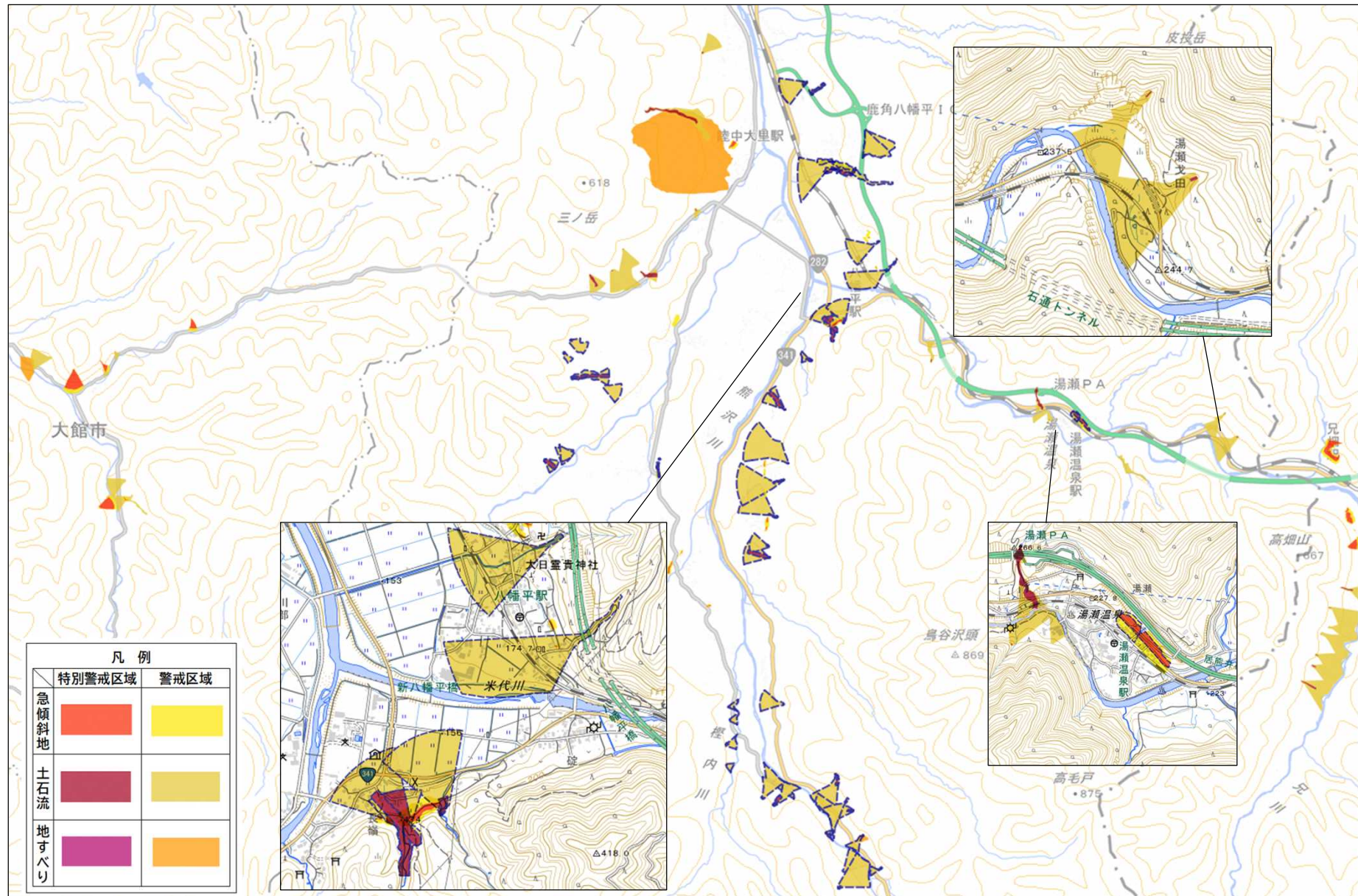
液化化危険度（花輪東断層帯のケース）

鹿角地域の特徴について



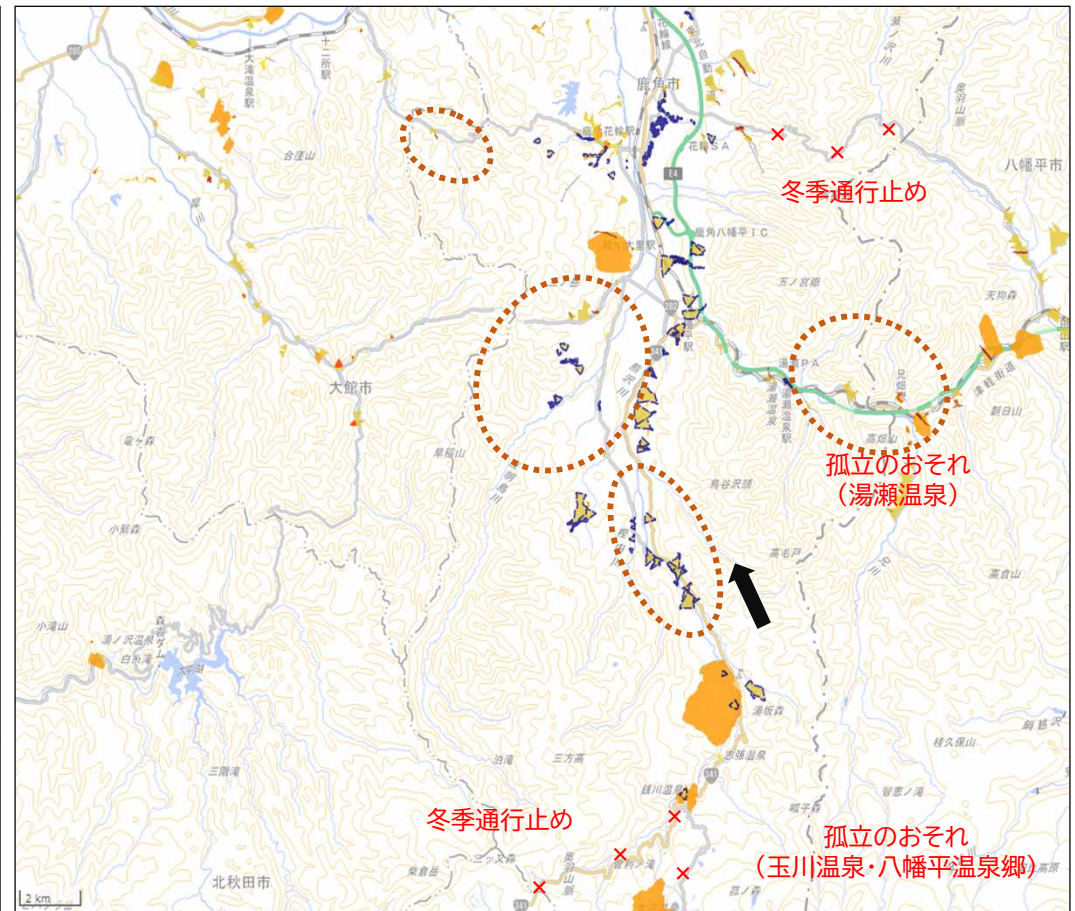
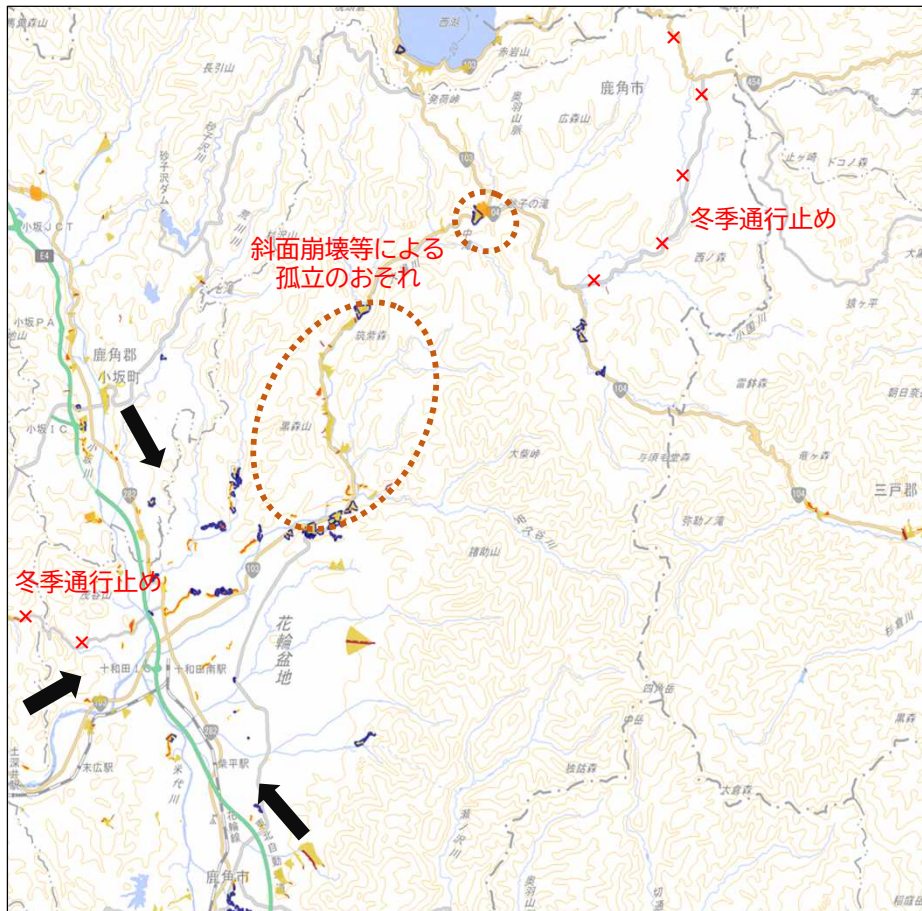
建物の棟数分布

鹿角地域の特徴について



土砂災害警戒区域（抜粋）

鹿角地域の特徴について（まとめ）



- 人口:28,363人(R5.1.1現在) (※65歳以上は41.5%)
- 住宅の耐震化率は71.3%(R2末推計)
- 花輪盆地内の南北に居住地域が広がり、周囲の山間部に集落が点在
- 東北自動車道と国道103号、104号、282号、341号が交通の中心 (※国道341号(仙北市方面)ほか県道に冬季閉鎖区間あり)

【地震の揺れ】

- 花輪盆地は周囲の山間部に比べ揺れが大きくなる傾向

【液状化】

- 花輪盆地の北部から中央部にかけて比較的液状化危険度が高い

【土砂災害】

- 東北自動車道及び国道は斜面崩壊等による道路の寸断のおそれ
- 山間部の集落や玉川温泉、湯瀬温泉、八幡平温泉郷は、斜面崩壊等 (冬季は雪崩も含む) に伴う道路の寸断により孤立のおそれ

リスクの設定について

リスクの設定の考え方

- 令和6年能登半島地震の災害の特性を踏まえて、地震の発生に伴う直接的な被害と、直接的な被害を要因として生じる間接的な被害（課題）をリスクとして設定する。

被害想定（秋田県地震被害想定調査及び秋田県津波浸水想定）

【男鹿半島地域】

地震：最大震度7（想定地震：男鹿地震，海域ABC連動）
津波：津波浸水想定（最大クラスの津波）

【鹿角地域】

地震：最大震度7（想定地震：花輪東断層帯）

リスク一覧

直接的な被害

直接的な被害による人的被害
建物の被災による使用不能
火災（大規模含む）
道路の寸断
河川の河道閉塞
港湾・漁港の機能支障
停電
通信障害
上下水道の使用不能
ガス等の燃料の供給停止

※建物の倒壊等に伴う被災
※液状化、隆起・沈降、斜面崩壊、津波浸水に伴う被災
※火気の使用、電気配線、太陽光設備等の漏電等による火災に伴う被災 等

間接的な被害（課題）

孤立集落の発生
孤立集落、自主避難所の把握困難
在宅・車両避難者の把握困難
災害対策本部等の運営困難
避難所（福祉避難所含む）の設置困難
物資の不足
病院・社会福祉施設の機能支障
応援機関の救助活動等の遅延
ライフラインの復旧遅延

※道路の寸断に伴う影響（情報収集、住民避難、行政職員の参集、物資輸送、救出・救助、復旧 等）
※ライフラインの停止に伴う影響（避難所の設置・運営、衛生環境、長期避難、病院・社会福祉施設の運営 等）

避難生活の長期化
良好な避難所環境の確保
直接的な被災以外の人的被害
災害ボランティア等の支援活動等の遅延
治安の確保
災害廃棄物の処理